

平成22年度NACISIS-CAT/ILLワークショップ
グループ討議成果物

みんなで頑張る共同分担

第3班

上野友稔 西山光幸

山本 豪 田崎淳子

現状の問題点

- レコード調整等書誌作成館の負担が大きい
- 経験の少ないカタログガーが自信を持たず、共同分担に関わりにくい

→共同分担方式の原点に帰るためには？

「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト最終報告」(H17.10)で、
「図書書誌レコード調整方式の改善」が課題としてあげられている！

私たちの提案
書誌修正・レコード調整プロセスの共有

①書誌修正フィールドの追加

②レコード調整バンクの作成

①書誌修正フィールドの追加

- 現状では作成館と最終修正館しか残らず、修正の履歴が分からない

→ いつ、どの館が、どのフィールドを、どのように、なぜ、変更したかが記録に残るように

修正日	修正館ID	修正フィールド	修正前の内容	コメント
20101209	FA001234	TR	仕事はつらいよ / 職員Y	CM: 2.2.1F による
20101209	FA000567	NOTE	(追加)	

その結果...

- それぞれのフィールドに対する変更には、変更館が責任を持つ
- 履歴が残る・開示されることで、個々のカタログのレコード修正に対する意識がより高くなる

②レコード調整バンクの作成

- 現状では、レコード調整の記録、情報源は個々の参加館の手元にしか残らず、共有、再利用ができない
- 一連のレコード調整を記録として保存し、活用できる外部データベースの構築

その結果...

- 個々の修正について、妥当かどうか後からでも判断が可能になる
- 個々のレコード調整の詳細を見ることで、自分に不足していた知識が分かる

そして業務分析表に

- 現業務分析表の評価対象を増やす（書誌修正、典拠レコード作成等の件数を追加）
 - 新規作成、修正、重複報告などにポイントをつけ、年間ポイントを新規所蔵数で割って指標化する
- 指標を基に同規模機関のランキング表を追加する

共同分担方式の最適化

- 作成館の負担が軽減する
- 今まで共同分担に関わりにくかったカタログガーが参加しやすくなる
- レコード調整の負担が見えやすくなる
- ランキング化により参加館のインセンティブが向上する